



自立と貢献

日高市立高麗川中学校
学校だより No.5
〒350-1205 日高市原宿49番地
TEL 042-989-1158
生徒数429名
令和7年8月27日 校長 久米 隆寛

世界陸上 小山選手

9月15日に行われる東京2025世界陸上の男子マラソン競技に、本校卒業生の小山直城選手が出場します。さらに当日は、競技開始時刻の8時から、高麗川小学校の体育館でパブリックビューイングも予定されており、本校の吹奏楽部が演奏します。

昨年のパリ五輪では、レース後のインタビューで、「たくさんの応援で最後まで走り切ることができた」と振り返り、「この経験は今後に役立つと思う。五輪や世界陸上に戻ってこられるように練習を頑張りたい」と次の目標を語っていました。

その言葉のとおり、小山選手が再び世界の舞台に戻ってきます。みんなで小山先輩を応援しましょう。



行事で育む「自立と貢献」

38日間の夏休みが終わり、教室に生徒たちの明るく元気な姿が戻ってきました。夏休み中の大きな怪我や事故等もなく、無事に2学期を始めることができました。これもひとえに、保護者や地域の皆様の見守りやご指導のおかげと感謝いたします。また、各ご家庭におかれましては、日々お子様の健康観察等、熱中症の予防にご尽力いただき重ねて感謝申し上げます。

2学期は、体育祭や合唱祭などの大きな学校行事があります。本校は、学校教育目標「自立と貢献」を達成するための手立ての一つとして学校行事を設定しています。

体育祭を例にすると、縦割りの団対抗で競うことにも意図があります。団での練習を通して、学級・学年をこえた団結力・協力・思いやりの心を育て、「自立」につなげたいと考えます。さらに、体育祭実行委員や生徒会を中心に企画・運営することで、準備から当日までの全過程において、生徒が自主的・積極的に参加できる体育祭をつくりあげ、「貢献」につなげるねらいがあります。

一人一人が自分の目的意識をもって参加することで、生徒自身の手で「誇れる体育祭、自慢できる体育祭」をつくりあげてほしいと願います。

保護者の皆様には、体育祭や合唱祭などのお子様の日頃の頑張りを見守り、応援していただくとともに、行事当日はぜひご来校いただき、学校でのお子様の姿をご覧いただきたくお願いいたします。

自然災害への備え

9月1日は、「防災の日」です。102年前の1923年に発生した関東大震災にちなみ制定されました。今、地震に限らず日本各地で大きな自然災害が発生しています。日頃から、命を守り被害を最小限にするための物品の準備や心の準備をしておくことが大切です。

本校でも大地震を想定した避難訓練を実施します。訓練のため、「授業中に地震が発生した」という設定です。教員がいて指示を出すので、生徒は指示通りの避難行動をして終了となります。

しかし、地震はいつ起こるかわかりません。登下校中や部活動中、休み時間のトイレ中かもしれません。いつも先生がいるとは限りません。先生がいなければ、自分で判断し、命を守る行動をとらなければなりません。友達と遊びに行った先で大地震に遭う可能性もあります。首都直下地震は、今後30年以内に発生する確率が70%と高い数字で予想されています（内閣府HP）。

9月1日を家庭での防災を考える機会にしていいただければと思います。